

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	無痛分娩から緊急帝王切開への移行時に選択する麻酔方法とその成功率
研究責任者	石田恵章
研究実施体制	研究分担者：林侘奈、岩崎美紀、菊池高史
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2027年3月31日
対象者	【対象患者】2013年1月から2027年3月までの間に聖隷浜松病院で無痛分娩中に緊急帝王切開になった患者 【除外基準】データ欠損など
研究の意義・目的	麻酔科医は無痛分娩中の妊婦に緊急帝王切開が必要になった際に、その麻酔を依頼される。一般的に妊婦に対して母体の安全や胎児への影響を考慮して、全身麻酔よりも区域麻酔(脊髄幹麻酔)が選択される。しかし、この無痛分娩から帝王切開への移行時に選択される麻酔方法(コンバージョン麻酔)は施設や担当麻酔科医ごとでばらつきがある。無痛分娩に使用されている硬膜外カテーテルの信頼性や帝王切開の緊急度、担当麻酔科医の技術など多くの要因が麻酔方法の選択に関わっているため、選択に難渋することや区域麻酔では鎮痛不十分のため全身麻酔が必要になることもある。そこで、当院では2013年ごろに無痛分娩が導入された以降でコンバージョン麻酔の種類とその成功率について調査する。また、区域麻酔の成功・失敗に関する要因についても検証する。本研究によりコンバージョン麻酔の実情を把握し、また成功や失敗の要因を検討することでより質の高いコンバージョン麻酔を提供できるようになります。
研究の方法	【方法】対象患者について、診療録と麻酔記録から以下の項目の調査を行う。 性別、手術時の年齢・身長・体重・BMI、手術開始時刻・終了時刻、手術時間(分)、麻酔開始時刻・終了時刻、麻酔時間(分)、在室開始時刻・終了時刻、在室時間(分)、出血量、酸素投与の有無、フェンタニル静注の有無・投与量(mL)、ロピオン投与の有無・投与量(mg)、プロポフォール使用の有無・投与量(mg)、吸入麻酔薬(セボフルラン)使用の有無、ドルミカム使用の有無・投与量(mg)、エフェドリン使用の有無・投与量(mg)、ネオシネジン使用の有無・投与量(mg)、担当麻酔科医、経妊回数、経産回数、帝王切開時の妊娠週数、出生児体重(g)、無痛分娩開始時刻、児娩出時刻(出生時刻)、無痛分娩開始から児娩出までの時間、無痛開始時の子宮開大度(cm)、硬膜外麻酔時の皮膚から硬膜外腔までの深さ(cm)、Breakthrough Pain 回数、帝王切開決定時刻、無痛分娩開始時の硬膜外カテーテルを挿入した医師 【評価・解析方法】 $\chi^2$ 乗検定、t検定、マンホイットニーのU検定、ロジスティック回帰分析、傾向スコアマッチング解析など
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除し

	<p>た上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。</p>
<p>個人情報開示に係る手続き</p>	<p>個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。</p>
<p>資料の閲覧について</p>	<p>ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。</p>
<p>問い合わせ窓口</p>	<p>聖隷浜松病院 麻酔科 石田恵章 TEL:053-474-2222(代表) 麻酔科外来 9:00~17:00 平日</p>